



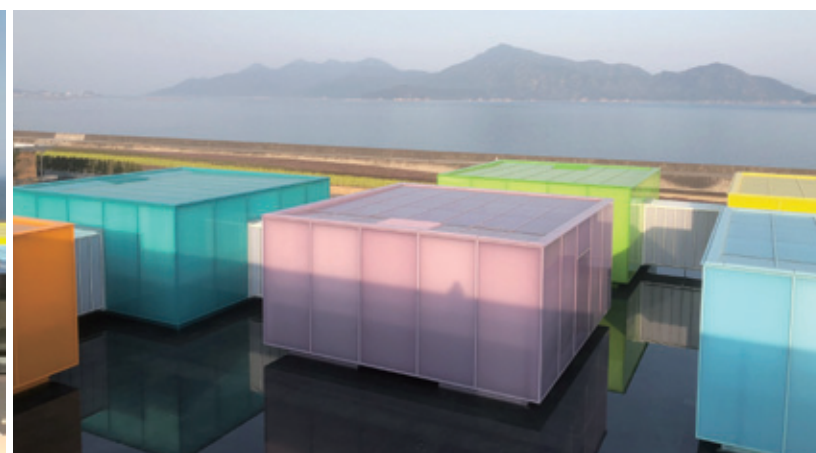
エントランス外観



エントランス内観



望洋テラスでの説明



水に浮かぶ展示室



エミール・ガレの庭



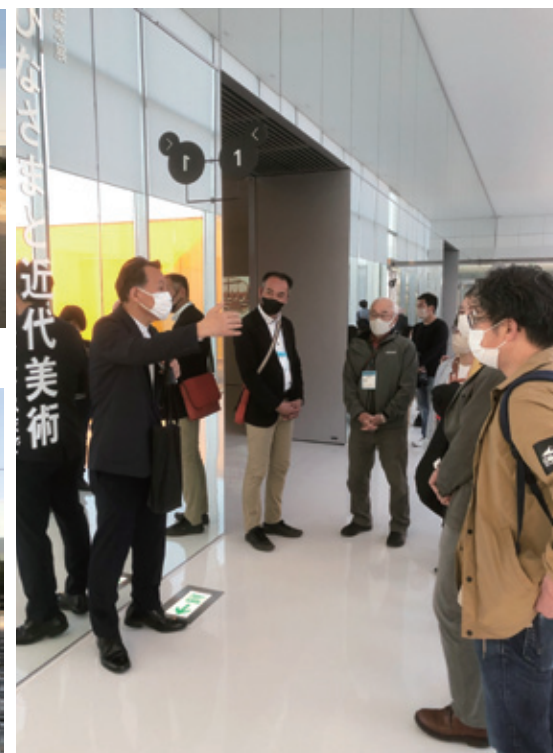
望洋テラスのぼり道



施設模型



鏡の森



展示室前での説明



表紙写真について

House F

- 設計・監理／藤森雅彦建築設計事務所
- 施 工／橋本建設株式会社
- 所 在 地／広島県広島市安佐南区
- 用 途／住宅
- 構 造 規 模／木造在来工法 平屋建て
- 敷 地 面 積／285.84㎡
- 建 築 面 積／119.73㎡
- 延 床 面 積／116.15㎡
- 竣 工 日／2021年10月

この住宅は老後を過ごす夫婦2人の住まいであり、クライアントからは諸条件とともに平屋建てであることが求められた。敷地の周辺は2階建ての住宅が多く、時折中高層のマンションなども点在している。要望である“平屋”というボリュームは、周辺との関係性や文脈がつくりにくいのではないかと感じ、周囲と同等のボリュームを設定し、そこから不要な部分を切り取ることで、空間を生成していく手法を試みた。気積を必要としない収納や廊下などのボリュームは切り取り、ボリュームに凹をつくりだしている。切り取った凹部は、光や風を取り込む環境装置、そして、大らかな気積を緩やかに区切る間仕切りとしても機能し、明るく風通しのよい空間を実現した。クライアントの要望と都市的に建築がどうあるべきか、両者をどちらも切り捨てることなくフラットに扱う中で、空間としても体験としても豊かな建築が立ち上がる、そのような建築の在り方を模索した。住まいとしての根幹である居住性・快適性を優先した平面計画としながらも、凹を空間に取り込むことにより、より豊かな生活を生み出していくことができるのではないと思う。



CPD 認定プログラム(5～6月の広島県内実施分)

2023年4月13日現在

日 時	プログラム名	単 位	主 催	連絡先
5/30	電気設備の内線規程講習会（広島会場） 5 / 30	5	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
5/31	H1201 冷媒配管の施工と空調機器据付け技術	6	広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
6/ 1	H1201 冷媒配管の施工と空調機器据付け技術	6	広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
6/ 6	シーケンス基礎講習会【1日目】 6 / 6	6	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
6/ 7	シーケンス基礎講習会【2日目】 6 / 7	6	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
6/ 8	監理技術者講習	6	広島県建築士会	082-244-6830
6/13	よくわかる！土質力学の基礎と応用	6	インターウェーブ	099-812-0677
6/14	電気設備保全担当者 基礎講習会（1日目） 6 / 14	5	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
6/15	電気設備保全担当者 基礎講習会（2日目） 6 / 14	5	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
6/17	H0401 実践建築設計2次元CAD技術（詳細図編）	6	広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
6/18	H0401 実践建築設計2次元CAD技術（詳細図編）	6	広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
6/20	【第1回】労働安全衛生特別教育（高圧・特別高圧電気）講習会（1日目） 6 / 20	6	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
6/21	【第1回】労働安全衛生特別教育（高圧・特別高圧電気）講習会（2日目） 6 / 21	6	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
6/27	第一種電気工事士定期講習（福山） 6 / 27	6	日建学院	03-3988-6201
6/28	【第2回】労働安全衛生特別教育（低圧電気）講習会（広島会場）	8	日本電気協会 中国支部	082-243-4237

公益社団法人 広島県建築士会

2023年度定時総会、
創立70周年記念式典 及び
祝賀会のお知らせ

開催日時 2023年6月17日(土曜日)

総 会 14：30～15：30

記念式典 16：00～16：45

祝賀会 17：00～19：00
会費 6,500 円
(正会員の表彰者は 3,000 円)

* スケジュールはすべて予定です *

会 場 リーガロイヤルホテル広島
〒730-0011 広島市中区基町 6-78
(電話)082-228-5758

会員様には往復ハガキにて
出欠の照会をさせていただきます。
ぜひご参加ください。

地球が輝き続ける、
まちづくりを。

私たちは「最良の作品を世に渡し、社会に貢献する」
という経営理念のもと、手掛ける建築・インフラの
ひとつひとつを丹精込めてつくってきました。
これからは豊かで安心・安全な「まちづくり」を通して、
サステナブル社会を実現し、地球の未来につないでいきます。

想いをかたちに 未来へつなぐ
株式会社 竹中工務店
TAKENAKA

株式会社 竹中工務店 <https://www.takenaka.co.jp/>
本 社：〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13 Tel: 06-6252-1201
東京本店：〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1 Tel: 03-6810-5000



建築士ならみんな大好き、レゴブロック。

広島支部の青年部会では、レゴブロックを使った新しいワークショップの企画を立ち上げました。



まちづくり体験ワークショップ第一段 広島駅南口再開発編
只今工事中の広島駅南口駅ビル廻りをレゴでつくって遊ぼう！というワークショップです。3/18(土)の午後、大人と子供を併せ22名が情報プラザに集まりました。

気になる作り方ですが、建物自体の正確な設計図や組み立て説明書はありません。事前に用意したのは敷地図のみ。今回のイベント用に1/250と1/500縮尺のものをCADで作成しました。2種類の縮尺にそれぞれ2組ずつ、合計4つのチームに分かれ、あとは広島市やJR西日本のホームページで公開されている計画書だけを頼りに、好きなように造形していきます。



計画書によると、新しい駅ビルは大きく建築面積が増え、バス乗り場やタクシー乗り場の一部はピロティに、従来のショッピングセンターだけでなく上部にはシネコンやホテルも入るようです。併せて路面電車のルートも変更になり、駅前大橋から直接2階の改札口前の吹抜けに接続されるので、そのあたりの特徴をどのように表現できるかが腕の見せ所になります。



※本企画はLEGO グループが関与するものではありません。



作り始めてみると、色やスケール感等を正確に併せたいリアル志向のチームや、各自建物を分担して自由に造形していくチームなど、集まるメンバーによってやりかたも様々。大人・子供関係なく皆さん熱中していました。



本当に形になるのかな？ という当初の不安はどこへやら。あっという間に素晴らしい作品たちが誕生しました！



ご参加いただいた皆さんありがとうございました&お疲れさまでした！ 今後も年に数回程度このレゴ企画を開催して行きたいと思いますので、ぜひご参加ください。

尾道市原田町にある原田芸術文化交流館(旧原田中学校)にて、空き家バンク研修会が行われた。半田尾道支部長のあいさつに続き、尾道市都市部主幹(空き家対策担当) 吉村雅司氏より尾道市の空き家の現状報告があった。

尾道市には2022年時点で居住目的のない空き家は約7733戸、7年間で380戸増加している。今後も空き家は増える傾向にある。市内5地域別の現状は、御調、向島、因島、瀬戸田地区は空き家の解体が容易で空き家は減少しているが、重機が入らない中心部は解体費が高額になるため空き家が増えている。市の対策としては、2017年に「尾道市空家等対策計画」を策定し、発生抑制・適切管理・利用促進・除去跡地活用に至る各段階での対策を推進し、空き家バンク制度の充実で一定の成果はあるものの空き家等の総数は増加傾向にある。現在は空き家になる以前から各種情報の提供や、建物所有者への管理意識啓発活動を行っている。それに伴い「第2期尾道市空家等対策計画」を策定している。空き家対策の肝となる空き家バンク制度は市中心部が14年前に始まり相談件数延べ8559件、登録件数延べ341、成約件数延べ151件で、現登録件数は49件である。空き家バンク物件に対する支援事業内容は、10年以上住む意思のある人に対して改修費用の3分の2(最大30万)、空き家バンクに2年以上登録している場合、家財等処分費の半分(最大10万円)、老朽化し危険な空き家除去費の3分の2(最大60万円)を補助、その他子育て世帯等の住宅支援事業がある。これらの対策は平成二十六年法律第二百二十七号 空家等対策の推進に関する特別措置法によるものです。最後に空き家問題を解決するには所有者一人ひとりの意識が大切です。

続いてNPO法人原田芸術文化交流館やまそらの佐藤顕治氏と原田町に住む建築士会元会長の元廣清志氏より原田地区の空き家の状況報告があった。原田地区では空き家バンクを1年前に設立し、去年の実績で相談件数36件、登録件数2件で建物調査には原田在住の建築士会会員3名が協力。成約件数はない。写真や平面図、おおよその所在地などをWEB公開しているため、相談者はあらかじめ現地を見ていてある程度の宣伝効果を感じている。原田は



農家住宅が多く、所有者は売却したいが希望者は借りた人が多く両者にギャップがある。また、農業振興地域にある農地であると農業従事者以外農地法で売れない。農地を3年ほど借りて農業を営み農業委員会で認められれば農地を取得できるというハードルがある。

最後にNPO法人ハウジングサポートセンター代表で建築士会会員である村上克広氏より因島の現状報告があった。ハウジングサポートセンターは買いたい、売りたい、借りたい、貸したい人をつなぐ目的で因島の建築設計・コンサルタント・不動産・建築工事・電気設備工事・給排水衛生設備工事に精通したプロ集団で平成16年に設立した。3年前に空き家バンク制度を始め、3年間で相談件数223件、登録件数63件、成約件数30件で、近年空き家が増えているものの移住希望者も増えており、成約件数も増加傾向にある。

各地域の状況報告の後、参加者を交えた意見交換が行われた。現状として空き家の改修が素人のDIYによるものが多く、プロである建築士の役割を考えさせる問題になっている。住宅メーカの不動産部の方も参加者されており、空き家の改修再販というビジネスモデルも近年醸成しつつあるという意見もあり、今後空き家問題の解決は各方面のアプローチを考える必要があると思った。また、近隣の空き家対策の行政担当者も参加されて活発な情報交換も行われかなり有意義な研修会となった。



新築住宅
環境 ECO 対策
店舗デザイン
マンション修繕工事
賃貸マンションプロデュース
内外装リフォーム
電気事業
公共他工事

新築工事から住宅リフォーム
マンション改修まで
お任せ下さい！

〒731-0135
広島市安佐南区長束 4 丁目 16-2
TEL:082-238-1511 FAX:082-238-1513

ティーエス・ハマモト

検索

TOTAL・STABILITY
HAMAMOTO

株式会社 ティーエス・ハマモト

安全で安心な住まいづくりをサポートします。

- ◆ 建築確認・検査
- ◆ 住宅性能評価
- ◆ フラット35適合証明
- ◆ 長期優良住宅技術審査
- ◆ 低炭素建築物技術審査

- ◆ 住宅かし担保責任保険
- ◆ 省エネ関連業務
- ◆ すまい給付金サポート
- ◆ リフォーム評価ナビ
- ◆ 地域型住宅グリーン化事業申請窓口
- ◆ ベターリビングリフォーム審査業務

指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関

株式会社 広島建築住宅センター

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-10
TEL (082) 228-2220 FAX (082) 228-2231
営業所 〒720-0034 福山市若松町8-22
TEL (084) 928-3979 FAX (084) 928-3974
URL: <http://www.hkjc.co.jp>

「より早く・より親切に・より分かり易く」をモットーに
より確かなサービスを提供します

- 指定確認検査機関
- 登録建築物エネルギー消費性能判定機関
- 住宅瑕疵担保責任保険業務
- すまい給付金関連業務

- 指定構造計算適合性判定機関
- 適合証明業務（フラット35）
- 調査診断業務（違法性調査、定期報告等）

- 登録住宅性能評価機関
- 長期使用構造等の確認業務
- 建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）評価業務

12条点検は弊社におまかせください

株式会社 ジェイ・イー・サポート

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-8-6F
TEL : 082-836-3300 FAX : 082-228-8201
支店：東京 事務所：福岡
e-mail : mail@jesupport.jp
URL <https://www.jesupport.jp/>

指定確認検査機関（中国地方整備局長指定第1号） 登録住宅性能評価機関（中国地方整備局長登録第5号） 登録省エネ判定機関（中国地方整備局長登録第3号）

BELS 低炭素建築物 長期優良住宅 建築確認 住宅瑕疵保険 フラット35 適合証明 住宅性能評価 省エネ適判

ハウスプラス中国は
迅速、的確な審査で、皆様の建物の
安全、安心をサポートします。

中国エリアをすっぽりカバーしています

広島支店・広島本店：広島市中区国泰寺町 1-3-32 国泰寺ビル
TEL : 082-545-5607 FAX : 082-545-5608
広島北支店：広島市安佐南区西原 6-9-40-7 TEL : 082-832-3310 FAX : 082-875-4330

Energy 中国電力グループ
ハウスプラス中国住宅保証株式会社
<https://www.jutakuhosho.com/>

3月11日 SIM°SE 下瀬美術館 オープン後 建築見学会

事業委員会委員長 浦山 豊隆

3月13日月曜日の（公社）広島県建築士会 創立70周年 記念講演会 開催に合わせて、3月1日、大竹市にオープンしたばかりの下瀬美術館のオープン後 建築見学会を開催しました。坂茂建築設計のパートナー菅井様と副館長の谷藤様のご同行により、施設説明をしていただきました。

美術館エリアで見学できたのは、アプローチ、エントランス棟、企画展示室、可動展示室、望洋テラス、エミール・ガレの庭、鏡の森などでした。

オーベルジュ（ヴィラ10棟、フレンチレストラン）エリアについては、4月オープンの予定ということでした。

見学会開催にあたりまして、美術館設立を進められた丸井産業株式会社様のご協力のもと、開催することができました。ご協力に感謝いたします。

美術館の展示作品は、主に創業者である下瀬家所蔵の数々の芸術作品とのことです。

当日の展示品は時節柄、ひな人形などがメインとなっていました。

庭園のランドスケープデザインはアースケイプの団塚栄喜氏、サインデザインなどは原研哉氏が手掛けたそうです。

当初の美術館の構想は別の敷地で計画されていたのですが、美術館建設の許可が得られなかったため、大竹市にある海に面した広大なこの敷地で計画されることになったそうです。

海辺に面した広大な敷地に下瀬美術館とオーベルジュ「Simose Art Garden Villa」（ヴィラ10棟とフレンチレストラン）からなります。

食事や宿泊ができるようになれば、敷地内で一日中過ごせるような施設になるとのことです。

海側の眺望を施設内部に取り込むため、敷地全体に盛土をして、堤防高さ約2mまでグランドレベルを嵩

上げされています。また、山側からの景観をよくするため、屋上の望洋テラスまで散策できるような築山を設け、さらに山側に隣接する既存のショッピングセンターが庭園内から映りこまないようにガラスの壁を立て、庭園からの視界から遮るよう計画されています。

望洋テラスからの海側の眺望は一面に瀬戸内海が広がるだけでなく、視線の先には海の向こうに宮島、その手前に8色の可動展示室が眺望の軸線上に飛び込んできて、とても鮮やかな景色です。

10m四方の8つの可動展示室は水盤の上にあり、ガラスの箱が水に浮いているように見えています。

上空からの見え方を意識して、屋根と壁の5面に着色されており、一つ一つの立方体に見えるようようデザインされています。可動展示室は60cmほど水位を上げると浮き上がるよう計画されています。パズルのように配置や経路を変えることも可能ということです。

エミール・ガレの庭についてはエミール・ガレの作品の中にある植物を使って構成され、ビオトープも庭園と一体として計画されており、美術館と水辺のヴィラとの緩衝帯ともなっています。

家具については紙管のベンチはもちろん、オリジナルで開発された、木製L型アングルで組まれた椅子も設置されています。

ヴィラについては紙の家など、これまでに坂茂先生が手掛けた別荘などをリメイクしたヴィラもあるとのこと。ヴィラが完成すれば、また、訪れてみたい。

このたびは坂茂先生の講演会と見学会をほぼ同時期での開催が実現できました。

事業委員会では講演会開催にとどまらず、いろいろな企画にもチャレンジできればと考えています。

8ページに写真を掲載しています